令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　　【松江市立　湖東中学校　】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○「情報の扱い方に関する事項」の正答率が高く、情報の整理や活用に関する基本的な力の定着が見られる。 ○選択式問題の正答が着実で、基本的事項の理解が定着している。	・文章の構造(段落の役割、要旨)を把握させるトレーニングを継続的に実施するとともに、根拠を明確化させる指導を取り入れる。 ・短文でまとめる「短答・短文記述」の機会を授業内に増やし、スモールステップで長文記述につなげていく。
	課題	●「C 読むこと」の正答率が低く、文章の読み取りに苦手を感じている。 ●記述式・短答式の正答率も低く、文章から必要な情報を読み取り、自らの言葉でまとめて記述する力に課題がある。	
数学	成果	○「数と式」の領域において、問題文から考察の対象を正しく捉えることができている。また、事象が成り立つ理由を、文字を使って説明する方法を考えることができている。	・授業の中で、なぜそうなったか考えさせる場面や説明する場面を設定していく。 ・どの領域においても、問題の場面・内容をしっかり理解できるよう、問題文を丁寧に読む活動を取り入れていく。
	課題	●「関数」「データの活用」の領域において、式や表、グラフなどから問題解決の方法を説明したり、データの傾向を読み取るための根拠を説明したりすることが苦手な生徒が多い。	
英語(成果または課題で話すことについて触れること)	成果	○「聞くこと」では、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができている。 ○「読むこと」では、グラフや表を完成させるために、必要な情報を読み取ることができている。	・授業の中で、アウトプットする場面の設定を増やす。 ・タブレットを活用したり、探究的な題材を工夫したりして、生徒が意欲的に取り組めるようにする。 ・話したことを書く活動につなげる時間を確保する。
	課題	●「書くこと」では、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことが苦手な生徒が多い。 ●「話すこと」では、社会的な話題についての問題の無回答率が、島根県や全国の割合と比べて高い。	

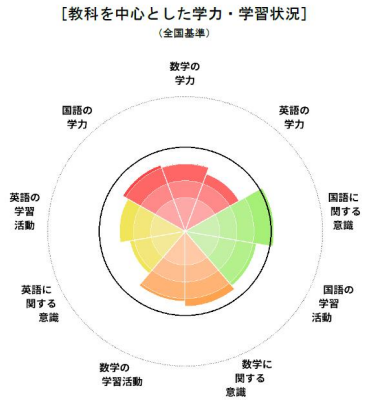
(2)質問紙調査から見られた傾向

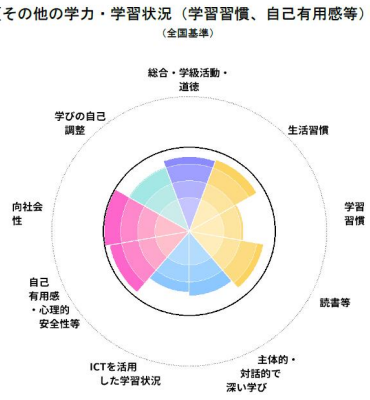
		分析(成果○:強み/伸ばしたい点，課題●:弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○自己肯定感が高く、将来の夢や希望を持ち、友だちと助け合いながら前向きに生活している。	・各教科、領域での学習において、ICTを効果的に活用して生徒各自の意見や考えを交換する場の設定を増やす。 ・どの教科においても探究的な学びを計画的に実施し、意欲的に学習に取り組むことができるようにする。
	課題	●家庭学習時間や読書時間が少なく、学びを深めたり新たな考え方に気づいたりすることに消極的である。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・本校が大切にしている四つの力「創造する力・解決する力・協働する力・表現する力」を育むことを意識した授業作りに努める。 ・授業の中に、ペアやグループなどでの話し合いや説明し合う場面を積極的に取り入れる。 ・話し合ったことをICT機器を活用してまとめ、発表する活動を充実させる。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)





【受検者数】

99 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

